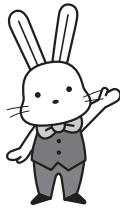


PICK UP



定例会議や緊急会議での各常任委員会および分科会に付託された議案審査の主な内容を紹介します。

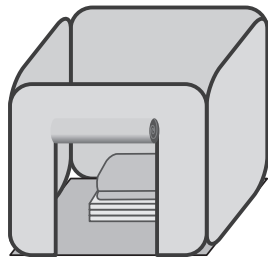
総務 避難所におけるテント式パーティションの整備

避難者1人当たりの必要面積と収容人数を見直し、避難所における生活環境の向上及びプライバシーの確保を目的として、テント式パーティションを3,835基整備する。

(主な質疑と答弁)

問：今回整備するテント式パーティションの数は。

答：既存のテント式パーティション2,908基に対して、不足する927基を追加で整備する。



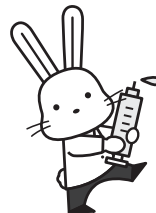
文教福祉 RSウイルス母子免疫ワクチンの推進

令和8年4月より、新たにRSウイルスの母子免疫ワクチンが、定期予防接種に追加される。対象となる妊娠28週から36週の妊婦は、公費負担により自己負担なしで接種できる。妊婦にワクチンを接種し、胎盤を通じて胎児に抗体を移行させることにより、生後間もない乳幼児の発症や重症化を予防する。

(主な質疑と答弁)

問：想定対象者数や受診可能な医療機関は。

答：対象者数は、年間の出生数を基準として積算している。また、市内の産科のあるかかりつけの医療機関で接種ができる見込み。



経済民生 福島市プレミアム付きクーポン事業(令和8年2月3日緊急会議)

食料品をはじめとした物価高に直面する市民生活の支援と地域経済の下支えを図るため、1,000円で購入可能な5,000円分のプレミアム付きクーポンを発行する。

対象は、令和8年3月1日時点で福島市に住民登録がある約262,000人。

(主な質疑と答弁)

問：1,000円の販売額に対し5,000円分のクーポンということは、今までにないプレミアム率だが、その金額に至った経緯は。

答：前は、8,000円の販売額に対し10,000円分のクーポンであり、一部から高額であるという意見があった。今回は、販売額を1,000円に抑え、プレミアム率が400%と過去最高であり、一層の物価高騰対策を図りたい。

建設水道 市営住宅空き住戸利活用事業

エレベーターがない市営住宅団地の高層階などの空き住戸について、民間事業者等から多様な利活用方法を募集し、市有財産の有効活用を通じた課題解決や市民サービスの向上を図る。

(主な質疑と答弁)

問：①利活用の一例である子どもの居場所づくりや交流サロンを若者の起業により事業化することは考えられるか。

②空き住戸の利用促進にはペット飼育を可とすることも含まれているのか。

答：①他自治体では、シェアオフィスとしての活用による創業支援等の事例がある。利活用方法を限定しすぎることなく、民間事業者からの多様な提案を募りたい。

②検討は進めているが、入居者や自治会の理解、アレルギーをお持ちの方への配慮などが必須であり、慎重な判断が必要となる。